

## リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

### 公立中学校の部活動について

(質問) 文部科学省の中学校の部活動の位置付けと指導について。また、部活動の現状と教師の過度な勤務、休養日の設定、今後の教育委員会の指導内容について。

(答弁) 学習指導要領では、中学校の部活動は、自主的な参加により学習意欲の向上や責任感、連帯感を養うことを狙いとしており、国でも運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

を策定し、適正化を推進する方向を打ち出している。

部活動の状況は、休養日が月平均1～2回が約20%、3～4回が約69%、5回以上が11%で、平日の練習は1時間から3時間となっている。教師の平均の時間外勤務は、月約45時間であるが、顧問は練習終了後から教科指導に関する業務を行うため、多忙につながっている。

教育委員会は、部活動を重要な教育活動と認識しており、「鈴鹿市運動部活動指針」を作成し、部活動の在り方について見直している。

## 鈴鹿の風 永戸 孝之 議員

### 史跡伊勢国分寺跡整備基本計画について

(質問) 国分町にある伊勢国分寺跡は、保存状態が良好であり、大正11年に国の史跡指定を受けた貴重な歴史的文化的遺産である。平成10年には考古博物館が開館し、平成12年度に伊勢国分寺跡及び周辺整備計画を策定、平成18年度には整備事業が開始されたが、進捗状況は。また、鈴鹿市文化遺産と一体化した観光振興、文化振興につながる整備をどう考えているか。

(答弁) 基本計画では、平成27年度完成の予定であったが、リーマン・ショックや大震災により国の補助が予算通りに採択されず、完成が遅れている。平成30年度の完成を目指し、予算の確保に努めたい。また、伊勢国分寺は、古代の伊勢国において文化や学術の中心であり、伊勢国分寺跡は、考古博物館と共に歴史文化の拠点と考えている。鈴鹿の歴史的文化的遺産と一体となった事業を展開する。

その他の質問 ○新教育委員会制度について  
○家庭教育支援について

## 公明党 池上 茂樹 議員

### マイナンバー制度について

(質問) マイナンバーカードの申請を受け付け約1年が経過するが、現状について。公共施設で利用でき、また、民間企業のポイントをマイナンバーカードに付与し、商店街などで使えるようにするシステム「マイキープラットフォーム」を早急に構築し、マイナンバーカードを多目的化することで地域活性化を図るべきではないか。

(答弁) 本年8月末時点で、人口の約8%に当たる16,130件の申請があった。また、マイナンバーカードには「マイキー部分」というICチップの空きスペース部分と公的個人認証の部分があり、多目的利用ができる。「マイキープラットフォーム」は、行政作業を効率化し、全国の公共施設や商店街などの各種サービスに利用できる。全国の自治体で地域の消費喚起に資することが期待されているため、調査研究する。

その他の質問 ○参院選の投票結果について

## 市民クラブ 中村 浩 議員

### 土地改良区について

(質問) なぜ市長が鈴鹿川沿岸土地改良区の理事長なのか。また、理事長の役割とは何か。

(答弁) 初代理事長は、当時の市長杉本龍造氏であり、広域での土地改良事業と市の事業が連携して円滑に進むように、当時の市長に理事就任要請があったと伺っている。その後、歴代の市長が就任しており、6代理事長は、現在の市

長が平成23年7月より就任している。これは、鈴鹿川沿岸土地改良区から市長へ理事就任の要請があり、理事の中から理事長に互選され、理事長に就任したことによるものである。

理事長の役割は、鈴鹿川沿岸土地改良区の意思決定機関である理事会の代表である。理事の職務は、土地改良法第19条により、「土地改良区を代表する。ただし、総会の決議に従わなければならない。」とあるため、総会の決定に従って業務を遂行している。